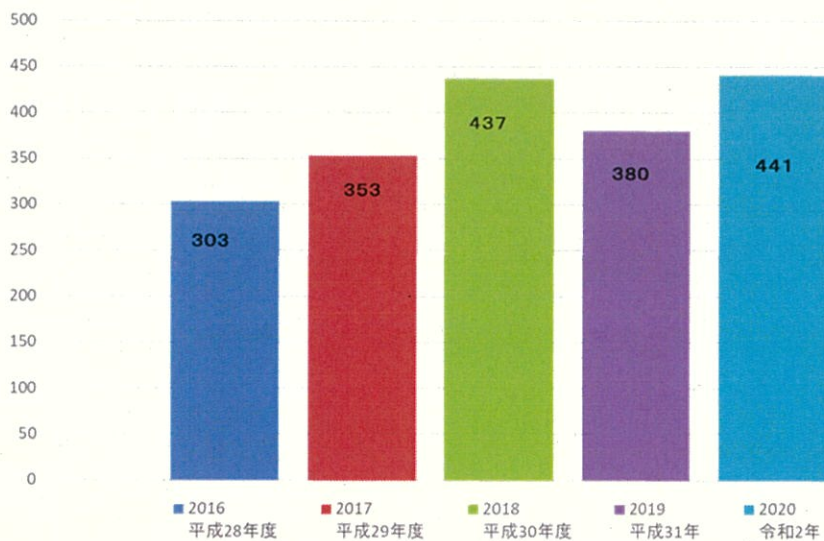


令和2年度の相談概要

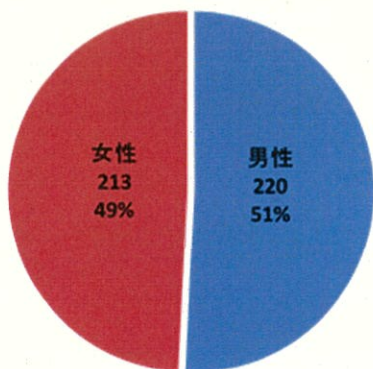
◆年度別相談総件数の推移



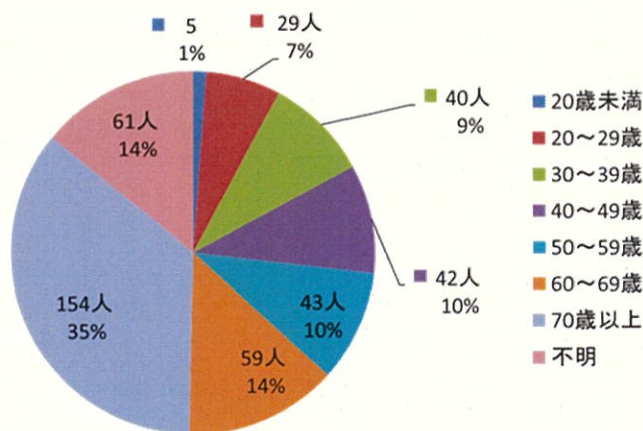
◆2020年度(令和2年度)の相談状況

《男女別相談状況》

(*件数には団体が5件、性別不明が3件含まれます。)



《年齢別相談状況》



《傾向と特徴》

令和2年度の相談件数は、441件（令和元年度 380件）、前年対比 116%で 61件の増であった。年齢別では 60歳代 59人（14%）70歳以上 154人（35%）で全体の半数近くを占めている。

相談件数は平成15年の消費生活窓口開設以来、過去最高件数であり、新型コロナウイルス感染症等の影響により消費生活相談の需要が増加していることや、従来から行ってきた市民への啓発が消費生活センターの知名度向上につながっていることがうかがえる。

相談内容としては、「マスク・消毒液の品薄に関する相談」や「結婚式や旅行のキャンセル料に関する相談」など新型コロナウイルス感染症の影響に関する相談が増加した。他にも「情報商材（もうけ話）に関する相談」や「光回線の契約に関する相談」など通信関連のトラブルも目立った。

《相談項目の上位》

① 運輸・通信サービスに関する相談

電話回線契約・アダルト情報サイト・ウイルスソフトなど

② 商品一般に関する相談

架空請求メール・架空請求はがき・不審なメールなど

③ 保健衛生品に関する相談

マスク・消毒液・脱毛クリーム・化粧品など